

今号に同封しています

憲法、平和、いのち、くらしを守る政治への転換を

9条改憲に反対します

原発ゼロと再生可能エネルギーへの転換を

原発のない世界を次の世代に残すために今、行動しよう!



全国保険医団体連合会が呼びかける2つの署名に、協会は取り組むことを2025年・2026年度第2回理事会(5月10日)にて確認した。小澤理事長が会員の先生方へ、積極的な署名への協力を訴える。

医療の充実と歯科への正当な評価を 安定電源は再生エネ推進こそ

全国で取り組む2署名への協力をお願いします

憲法署名

原発ゼロ署名

理事長 小澤 力

のち、くらしを守る政治への転換を求める請願署名」は、7月の参院選を見据え、重要な意味を持ちます。

社会保障の充実が戦争の危機止める力に

憲法署名で
歯科医療の正当な評価求める

「税金はくらしの拡充に戦争準備の軍拡は中止して、憲法、平和、い

現在、自民・公明・維新の3党は、保険適用の縮小や診療報酬引き下げを含む医療費抑制策の議論を進める一方で、大軍拡路線には目をつむっています。2022年度から防衛費はGDP比1%を超え、2025年度までの3年間で約3兆円が増額されました。これは、過去20年以來ほぼ変わっていない年間の歯科医療費(およそ3兆円)に匹敵する規模です。防衛費の増額と歯科医療費を比較すればその偏重ぶりが明らかです。

自国で安定したエネルギーを

「原発ゼロと再生可能エネルギーへの転換を求める請願署名」は、これ以上の電気料金の高騰を招かず、環境に配慮した安全・安心のエネルギーを求めましょう。

ジャーナリストの布施祐仁氏が「日米軍事一体化の行方と戦争のリスク」この道の先に国益はあるのか」と題し、大阪府保険医協会・反核平和委員会の主催で3月16日、講演した。編集部が布施氏の講演概要をまとめ、連載で紹介する。

軍事力強化を合意した日米首脳会談

2月初めに、トランプ大統領と石破首相の首脳会談があった。そこで合意したことは極めて危険

防衛費の2倍化が進めるもの



今年3月、自衛隊に初めて統合戦司令部という新しい司令部ができた。どういった司令かというところ、戦争になった時に陸海空3つの自衛隊す

常時、臨戦態勢に

べてを一元的に動かせる権限を持った司令官を置くというものだ。これまではそういうものは平時には置いていなかった。戦争になったら必要な臨時の統合部隊を作って、司令官を置いて動かすスタイルだった。それが、平時のうちから統合司令部を作っておくということになった。日本の動きに合わせてアメリカも同じような動きを進めている。陸軍、海軍、空軍、海兵隊、この

4軍を指揮することができる統合部隊を日本に配置する。これまでは置いていなかったものだ。過去70年で最も強力な進展

当時のオースチン国防長官は、「在日米軍を統合司令部に格上げし、任務と作戦の責任を拡大する。これは在日米軍の創設以来、最も重要な変化であり、日本との軍事上の関係において、過去70年で最も強力な進展の一つだ」と発言した。これまで日本に自衛隊も米軍も部隊を指揮命令する常設の司令部はなかった。戦争になってから作るといふシステムだった。それが、これからは常設の司令部を作るということになった。常に臨戦態勢。いつ戦争が起きてもすぐに戦える状態にする。これは非常に大きな変化だ。臨戦態勢が常時取られている意味は、隣国の韓国と比較すると分かりやすい。

緊急財政措置、診療報酬再改定など 歯科の現状訴え要請

国会行動



協会は4月24日、国会議員要請行動に取り組み、平尾清司副理事長と事務局が参加した。要請では、物価高騰で歯科医院が疲弊している中で、医療機関への緊急財政措置を講じること、診療報酬の期中改定を求めた。また、医療機関で今もマイナトラブルが続いていることから、従来の保険証が使い続けられる措置を求めた。日本共産党の山下芳生参院議員、倉林明子参院議員、れいわ新選組の八幡愛衆参院議員が懇談に応じ、日本共産党の大門実紀史参院議員が「保険でより良

い歯科医療を求める請願署名」の紹介議員を引き受けた。

閉院は医療DX物価高騰が原因

山下議員からは、歯科医院で閉院が相次いでいる問題について「今後どのような運動を進めていくべきか」と問いかけがあった。平尾副理事長は、政府の医療費抑制策のなかでも歯科医師数の抑制問題を議題にあげ「歯科医師を増やせというスローガンをもっと大きく掲げて運動を進めていくべきだ」と訴えた。八幡議員は、特に歯科

歯界

多くの批判や開催中止を求める声など馬耳東風とばかり、関西万博(以下万博)が開幕した。万博協会や維新の会は、万博開催の意義について「3兆円(当初は6兆円とも)の経済効果がある」と吹聴していた。そのために必要な万博来場者は約2800万人。1日平均15万人である。猛暑であろうが、雨が降ろうが、台風が襲来しようが、地下鉄が止まろうが1日15万人である。で、開幕1か月を経過した現在、1日平均15万人どころか1日たりとも15万人を突破していないという体たらくである。焦った万博協会は、万博施設内で働く「関係者」を入場者にカウントするという愚行に走った。貧すれば鈍す、恥の上塗りであろう。この先は梅雨と猛暑の季節が来る。開幕直後の「ご祝儀相場」は終わる。全てがウソ、偽り、不誠実の万博、これ以上世界に恥を晒す前に、大きな事故の起こる前に中止の決断を。株の世界には「損切り」という言葉がある。深手を負う前に決断を求む。(S)

今号に同封

2025年6月改定
点数早見表
(免除会員除く)